



近畿ブロック支部発足と役員改選の報告

近畿ブロック支部長（学会理事） 外山 学

旧プライマリ・ケア学会の時代の1987年から、近畿ブロックでは毎年地方会を開催し、ブロック所属理事と代議員（旧学会では評議員）により調整が行われてきましたが、組織としての近畿ブロック支部はありませんでした。

3学会が合併して日本プライマリ・ケア連合学会（以下、学会）となり、新しい支部整備の方針が打ち出され、昨年（2011年）11月20日、吹田市で開催された第25回近畿地方会での代議員会において、新制度に基づき、規約と予算を有する「近畿ブロック支部」が正式に発足し、役員が承認されました。

今年9月30日に開催された臨時代議員会において今期の役員改選が行われました。現在の役員名簿は、以下の通りです（五十音順、敬称略）。ちなみに、初代ブロック支部長は、小泉俊三先生でした。

支部長：外山学（学会理事）

副支部長：雨森正記（学会理事）、大島民旗（学会理事）、戸田和夫

幹事：朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地顕一、高木幸夫、
武田以知郎、羽野卓三、福原俊一、松村理司、水野融、三ツ浪健一

監事：大島久明、澤木政光

近畿ブロック支部（略称KPCA：Kinki Primary Care Association）は、学会の会員のうち、近畿ブロック（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県）に所属する方によって構成され（ブロック支部としての会費は必要ありません）、ブロック代議員会を最高議決機関とし、日常的な運営は、支部長・副支部長・幹事による幹事会が行うこととなっています。これからどんどん新しい事業に取り組み、ニュースレターなどでお知らせしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について、皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

又、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、

1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き（主要なもの1つ）、6)主催者（及び共催者）、7)連絡・問い合わせ先、8)HP（あれば）、9)事前申込の要否、10)参加費用、11)取得可能単位、を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。

尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月25日締切→3月下旬発行、5月25日締切→6月下旬発行、8月25日締切→9月下旬発行、11月25日締切→12月下旬発行、となっております。

学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ会合の情報提供をよろしくお願いいたします。

（連絡先）日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部 事務局

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目22-38 三洋ビル4F あゆみコーポレーション内

TEL.06-6441-4918 FAX.06-6441-2055 e-mail : jpc@ayoume.jp

日本プライマリ・ケア連合学会 近畿地方会 ホームページ <http://square.umin.ac.jp/pc-kinki/>

今年度（第26回）近畿地方会報告

大会長（京都下京・南医療連携協議会 会長） 関 透

地方会前日に健康まつりと市民公開フォーラムを開催した。このことはこの大会に全精力を集中させるために、京都下京・南医療連携協議会が毎年10月に開催している下京・みなみ健康まつりと、下京東部医師会・下京西部医師会主催で毎年3月に行われている市民公開フォーラムを開催した。尚この大会自身は、毎年3月に行われている下京西部医師会主催の学術発表会である集談会を大規模化したものと位置づけて、本協議会の関連している行事を一つにまとめ力を結集させた。集中させるため、この行楽シーズン、特に京都では間違いなく観光客でごったがえすであろう、この時期にあえて設定した。



大会までにはとどこでもあると思われるさまざまな問題かが発生した。これも医歯薬の三つの業界で五つの団体が幹事団体であるため、そして同じ業界でも少しずつ方向性の違いがあるためである。しかし何とか問題点を解消し、ようやくここまでたどり着いたという感慨もある。

大会当日に一番心配したのは、やはりこの行楽シーズンであるための演者の遅参である。前日の市民公開フォーラムの演者である原邦夫先生は、渋滞に巻き込まれ開始間近の到着になり、またパソコンと会場の機器との接続がなかなかうまくいかず、開始時刻が少し遅れてしまった。

大会当日は快晴となり絶好の行楽日和にであった。そのことも逆に幸いしたのか幸先良い滑り出しであった。開会式での丸山泉学会理事長のあいさつの中に学会の現状、特に専門医制度についてお話をいただいた。会長基調講演においては、この大会のテーマである「ネットワーク力を鍛える～その構築と連携」をもとに「ネットワーク力の構築」として、主催団体である京都下京・南医療連携協議会をいかに形成してきたかをお話した。教育講演1では脊椎外科のお話、教育講演2ではうつ病対策、教育講演3では歯科関連で歯科心身症、教育講演4では共同薬物治療管理、またランチョンセミナーでも医師以外の参加者にも聞いてもらえるセミナーも企画した。認知症はもちろんのこと、医科歯科連携である糖尿病と歯周病のセミナー、またCKD、身体表現障害のセミナーも行われた。ノーベル賞受賞された益川敏英教授の講演は、まだ半分しか話していないと終わり間近で言われるなど、やはり並ではないと感じた。シンポジウムにおいてはNSTを題材に多職種協働をテーマにした。また寸劇を行い、毎年行っている下京西部医師会の集談会の味わいもただせるようにした。

当日の参加者は1026名であり、ちなみに演題数は138題あった。我々が設定した目標を達成したと考えている。これもひとえに丸山泉学会理事長・外山学近畿ブロック支部長、そして第24回の加古川市加古郡医師会、第25回の吹田市医師会、また後援をいただいた各団体をはじめ関係者の皆様方のご支援・ご協力のたまものに他ならない。ここに感謝の意を表するとともに我々の今後の活動に対してご指導・ご鞭撻を賜りたい。

近畿ブロック所属理事活動報告(1)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

今期から新設された「支部活性化・会員増強委員会」の委員長をさせていただきます。委員会では、8月に「ブロック支部活動アンケート」を実施し、9月の福岡大会中に開催した「ブロック支部長会議」において、支部からの学会への要望を取りまとめました。その結果を踏まえ、10月21日に第1回委員会を行い、委員会(学会)とブロック支部、都道府県支部等との基本的な関係のあり方や、ブロック支部への具体的支援策(財政的支援、情報共有支援、生涯研修支援など)などについて協議を行いました。

具体的には、ブロック支部長会議のメーリングリストを稼働させ、各ブロック支部配布物の、学会誌への同封のしくみ作りを行いました。今回のニュースレターの発行も、そのシステムを利用したものです。

今後は、ブロック支部への補助金支給のインセンティブの具体化や、“都道府県”支部/グループ活動の実態把握調査を計画しています。

支部活動の支援を通じて、あらゆる職種・世代・立場の方にとって、魅力的な学会創りに貢献していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

近畿ブロック所属理事活動報告(2)

雨森 正記 (医療法人社団弓削メディカルクリニック/滋賀県)

「生涯教育委員会」の委員長を拝命しております。生涯教育委員会では昨年より春と秋に生涯教育セミナーを行っております。昨年、今年度は東京で1日、大阪で1.5日行い、今年度は計1000名近い方に参加していただいております。来年度は7月7日に名古屋で11月に大阪で開催予定です。

また今年からは新事業としまして「生涯教育 Hands-on セミナー」も開始しました。これはひとつの分野に関して1日で見聞を深めることを目的にはじめたもので、生活習慣病、小児、産婦人科、耳鼻科、整形外科など日々の診療に役立つ項目をピックアップしています。

若手からベテランまでまた多職種にも学習していただけるような企画を今後も考えております。これまで一度も参加されていない方も一度参加していただけますときっとまた参加したくなるようなセミナーにしたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

近畿ブロック所属理事活動報告(3)

大島 民旗 (ファミリークリニックなごみ/大阪市淀川区)

理事としては新任で日々勉強中ですが、担当として「専門医制度タスクフォース」内の「プログラム運営・FD委員会」の副委員長と、「家庭医後期研修プログラム責任者会議」の主担当理事を仰せつかっています。FDとは Faculty Development の略で、家庭医後期研修プログラムの運営と質の向上をサポートするのが役割です。現在国で議論されている新専門医制度では18の基本領域以外に新たに総合(診療)医が専門医として位置づけられる議論が進行中で、本学会の後期研修プログラムがそのベースになる方向性となっており、研修内容の質の担保は重要な課題となっています。

近畿ではこれまで後期研修医ポートフォリオ発表会を毎年行っています。「ポートフォリオ」は耳慣れない方も多いかと思いますが、症例レポートよりも研修医の内面の省察を重視したもので、後期研修医は20のポートフォリオ作成が義務付けられています。2013年3月9日(土)に大阪で開催の準備をしています。詳細が決まりましたらご案内させていただきますので、ご都合のつく方はご参加をよろしくお願いいたします。

今年度(4月～来年3月) 地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募案内

近畿ブロック支部では、都道府県などでの支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、以下の規定に基づいて、補助を行うこととなりました。文面だけ読むと面倒そうに見えますが、実際の申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募をお願いいたします。適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもよろしくお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。
＜参考＞ 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則
第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にしたい、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。
- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。
(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内の文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の使途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告書の提出は、近畿地方会での活動報告(一般演題)発表の形でも良い。近畿ブロック支部全体の情報共有や交流のため、地方会での発表を推奨する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、案内人数分の郵送料(80円/人)を補助する。
尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

講演会等のご案内

- 平成25年3月23日(土) 14:00～19:00 奈良市保健所(JR奈良駅前)
全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 奈良(仮称) http://www.jascs.jp/nintei_semi/nintei_semi_index.php
「職場における禁煙支援」 高橋裕子(奈良女子大学 教授)、他
主催:禁煙健康ネット(KK) 共催:奈良市保健所
対象:医療者 事前申込:必要 参加費用:奈良県内 無料、奈良県外 5000円
日本禁煙科学会認定禁煙支援士講習会参加点:2点、本学会プライマリ・ケア薬剤師認定指定講座:3単位
問合せ:高橋裕子 yukotak@mua.biglobe.ne.jp